



Ido Tea Bowls :
Treasured Possessions of Muromachi Daimyō

井戸茶碗

特別展

— 戦国武将が憧れたうつわ —



2013年 11月2日(土) - 12月15日(日)

【休館日】月曜日、ただし11月4日(月・祝)は開館し、翌5日(火)休館

この秋、根津美術館では、特別展「井戸茶碗 — 戦国武将が憧れたうつわ —」を開催いたします。

井戸茶碗は高麗茶碗こうらいの一種で、朝鮮時代に朝鮮半島で生産されて日本へ渡来した茶碗です。我が国にはかなりの量と種類の高麗茶碗が伝世し、とくに15世紀から18世紀までの間に運ばれた茶碗は、江戸時代を通じて細かく分類されました。そのひとつが、井戸茶碗です。

桃山時代(16-17世紀)には高麗茶碗が流行し、天下一の茶碗として関白秀吉が井戸茶碗を所持していたことが記録から知られます。前田家、柴田家、毛利家をはじめとする名だたる戦国武将たちを魅了した井戸茶碗の数々は、当時武家社会で広まり始めた侘び茶の最高峰の茶碗として、今日まで伝えられてきたのです。

井戸茶碗が朝鮮半島のどこで焼成されたのかをめぐっては、永い間調査や研究がおこなわれてきましたが、現在にいたるもまだ結論は得られていません。

この度の展示が、国宝「大井戸茶碗 銘 喜左衛門」、重要文化財「大井戸茶碗 銘 細川」、重要文化財「青井戸茶碗 銘 柴田」などを含む約70点の作品によって、井戸茶碗をめぐる歴史的な人と物のつながりを知る機会となれば幸いです。侘びの静寂と茶碗の饒舌さをどうぞ御堪能ください。

画像：国宝 大井戸茶碗 銘 喜左衛門 大徳寺孤篷庵蔵

撮影：小野祐次 画像提供：世界文化社

国宝

大井戸茶碗 銘 喜左衛門
朝鮮・朝鮮時代 16世紀 大徳寺孤篷庵蔵

井戸茶碗としては唯一、国宝に指定されている茶碗。ゆつたりとした姿に枇杷色の釉がかり、引き締まった高台には梅花皮と呼ばれる釉のちぢれが見られる。松平不昧の「雲州蔵帳」に大名物とされ、後に不昧夫人が大徳寺孤篷庵に寄進し以来同寺に伝わる。



重要文化財

大井戸茶碗 銘 細川
朝鮮・朝鮮時代 16世紀 畠山記念館蔵

大らかな姿ながら、朝鮮の茶碗にしては端正さを見せている。梅花皮がはつきりと現れたやや高めの高台は大きな茶碗をしつかりと支えているようである。井戸茶碗の中でも特に大振りで、明るい枇杷色の釉とゆつたりとした姿が魅力的である。



重要文化財

青井戸茶碗 銘 柴田
朝鮮・朝鮮時代 16世紀 根津美術館蔵

織田信長から柴田勝家が拝領したため「柴田」と呼ばれる。青井戸茶碗は、力強い轆轤目と大きく開いた碗の姿に特徴がある。釉は淡い紅色と灰青色を呈して、穏やかな雰囲気を見せる茶碗である。



【井戸茶碗の種類】

大井戸 茶碗としては大形のもので、ゆつたりとした姿に高い高台をもっています。
小井戸 やや小さめの碗で、大井戸と同様の姿をみせています。
青井戸 青色をした茶碗というよりも、その大きく開いた姿が特徴です。

【戦国武将と井戸茶碗】

秀吉は天下一の井戸茶碗を所持し、茶会で用いましたが、蒐集した名物には、諸国の武将が所持していたものが多く含まれていました。また博多を支配していた大友宗麟は、豪商の嶋井宗室から、明国や朝鮮の諸道具や高麗茶碗を手に入れていることが知られています。

展示室5 「中国の鏡―村上コレクションの名品―」

平成23年に村上英二氏より寄贈された中国の鏡のコレクション80点のうち、約50点を選び展示いたします。国内有数の質の高さを誇る作品群によって、多様な鏡の世界をお楽しみください。



方格規矩四神鏡
中国・前漢時代 前1世紀
村上英二氏寄贈 根津美術館蔵

鏡の鈕の周囲を方形に囲い、その外側にアルファベットのTLVに似た形の文様と、青龍・朱雀・白虎・玄武の四神を配した鏡である。これは、古代中国の「天は円く地は四角い」という世界観をあらわしている。



海獣葡萄鏡
中国・唐時代 7世紀
村上英二氏寄贈 根津美術館蔵

古くから「海獣葡萄鏡」と呼び慣わされる、葡萄唐草文と禽獣を配した鏡の優品。海獣とは外来の獣を意味する言葉で、初唐期のこの作品では、西方から入ってきた獅子文の影響を受けた狻猊という神獣をあらわしている。



パルメット文鏡
中国・唐時代 7世紀
村上英二氏寄贈 根津美術館蔵

鏡の背面全体を、エジプト・メソポタミア由来のパーム（なつめやし）をモチーフとするパルメット文で埋め尽くした鏡。唐時代の国際交流の進展にもない、このような壮麗な文様の鏡が流行した。

展示室6 「仲冬の茶の湯」

仲冬は、陰暦11月の異称です。炉を開いて釜をかけ、新茶を点でて、茶の湯の一年の始まりを祝います。国宝・鶉図を特別出陳し、季節の茶道具を約20点取り合わせます。



国宝
鶉図 伝 李安忠筆
中国・南宋時代 12-13世紀
根津美術館蔵

秋の野を歩む鶉を描く。鶉は細やかな羽描きによって量豊かに表現され、秋草の精妙な描写も空間の実在感を高めている。宋代代花鳥画の最も優れた作品のひとつである。



志野秋草文水指
日本・桃山時代 16世紀 根津美術館蔵

堂々とした姿の、志野を代表する水指として知られる。全体に掛けられた白釉に映える鉄色の秋草文、底近くの赤く焼けた土の色が華やかな印象を与える。



赤楽茶碗 銘 冬野 伝 楽道入作
日本・江戸時代 17世紀 根津美術館蔵

丸みのある腰に筒状の胴がつく、端正な姿をした作品。高台は低く、その内側に楽の印はみられないが、作風から、楽家三代・道入の作と伝えられる。

■ 講演会Ⅰ「井戸茶碗の魅力―その種類と産地をめぐって」

日時 11月9日(土) 午後2時～3時30分
講師 赤沼多佳氏 三井記念美術館参与

■ 講演会Ⅱ「茶人と井戸茶碗」

日時 11月30日(土) 午後2時～3時30分
講師 千宗屋氏 武者小路千家 家元後嗣

■ 落語「井戸の茶碗」を聴く会

日時 11月29日(金) 午後3時30分～4時30分
出演 立川談慶氏 落語家

■ *会場はいずれも根津美術館講堂(定員各130名)

〈申し込み方法〉 往復葉書に、参加を希望される催事名(「講演会Ⅰ」、「講演会Ⅱ」または「落語を聴く会」と住所・氏名(返信面にも)・電話番号を明記の上、〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館「井戸茶碗」展催事係宛にお申込みください。

*「講演会Ⅰ」は10月26日(土)、「講演会Ⅱ」は11月16日(土)、「落語を聴く会」は11月15日(金) 締切(当日消印有効)

*参加希望者1名1催事につき、1枚の往復葉書でお申込みください。
*聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

■ ギャラリートーク

日時 11月15日(金)、12月13日(金) 午後1時30分から45分間
場所 根津美術館1階展示室1・2 (定員各30名)

*事前申し込みは不要。午後1時よりホールにて整理券を配布します。

■ スライドレクチャー

日時 12月6日(金) 午後1時30分より約60分
場所 根津美術館講堂 (定員130名)

*事前申し込みは不要。開始の15分前より講堂入口で受け付けます。

※聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。いずれも定員になり次第受付終了。

■ 「館蔵井戸茶碗の茶席」

日時 11月21日(木)
場所 根津美術館 庭園内茶室 「披錦斎」(全5席 各席定員20名)
参加費 一万円(別途入館料をお支払いください。)

〈申し込み方法〉「清雅なる情景 日本中世の水墨画」展(9/11-10/20)会期中、当館受付にてお申込みください。定員になり次第受付終了。

【展覧会名】 特別展「井戸茶碗 ―戦国武将が憧れたうつわ―」

【主催】 根津美術館

【開催期間】 2013年 11月2日(土)～12月15日(日)

【開館時間】 午前10時～午後5時「入館は午後4時30分まで」

【休館日】 月曜日、ただし11月4日(月・祝)は開館し翌日休館。

【入館料】 一般1200円(1000円) 学生1000円(800円)

* ()内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

【前売券】 一般1100円 学生900円

*2013年9月11日(水)～10月20日(日)「清雅なる情景 日本中世の水墨画」展開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売

【アクセス】

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線(表参道) 駅下車
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分

【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山 6-5-1

【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536 (代表)

【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp> (日本語・English)

【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp> (日本語・English)

*携帯サイトは機種により閲覧できない画面があります。
【専用アプリ】「App Store」・「Google play」から根津美術館を検索してダウンロード

〈次回展のご案内〉



コレクション展

和歌を愛でる

2014年

1月9日(木)～2月16日(日)

古筆切、屏風、硯箱など、平安から江戸時代までの和歌にちなんだ名品を展観します。

「茶陶三昧 三館めぐり」キャンペーン

今秋、茶陶に関連する以下の3展覧会会期中、各館展覧会にいらした方は他館の入館料が割引になる特典あり。3館すべてご来館になった方にはプレゼントもご用意しております。 ※ 詳細は各館のホームページなどでご確認いただくか、問い合わせ先にお尋ねください。

・三井記念美術館 特別展 『国宝「卯花塙」と桃山の名陶―志野・黄瀬戸・瀬戸黒・織部―』	9/10-11/24
・五島美術館 特別展 『光悦―桃山の古典―』	10/26-12/1
・根津美術館 特別展 『井戸茶碗 ―戦国武将が憧れたうつわ―』	11/2-12/15